



世界の地域から

↑いろいろな衣装に身をまとったカセナ族の女性たち。このカセナ族は無文字社会を形成しており「笛言葉」を使っているそうです

ブルキナファソ

アフリカのサハラ砂漠の南に位置する内陸国で、日本の面積の約70%の国土を持ち、人口は約1390万人。「清廉潔白な人の国」の意味を持つこのブルキナファソでは、フランス語を公用語とし、そのほかモシ語を中心に63もの部族語が存在します。

11月から2月までの乾季と3月から10月までの雨季に分かれ、12月から2月は旅行やハンティングには最適ですが、ひとたびハルマタンと呼ばれる風が吹くと辺り一面砂ぼこりに覆われてしまいます。

1998年には、フィリップ・トルシエ氏がサッカーのブルキナファソ代表監督をつとめ、アフリカネイションズカップで4位に輝いたということでこの国を知っている方もいるのではないのでしょうか。





1

①2年に1度開かれるアフリカ最大の国際映画祭「フェスバコ」のモニュメント。次回は2007年2月24日～3月3日に開催される予定です ②首都ワガドゥクから約30kmほどのところに住むブルキナファソでは最も大きな民族、モンシ族の伝統的な踊りの風景 ③首都ワガドゥクの上空。ブルキナファソでは、暑い日には50℃を超える日もあるといわれます ④ブルキナファソ最大のグランマルシェ（市場）の様子。ここに来れば、何でもそろいます



3



4



2



⑤ ブルキナファソ国立博物館

⑥ フェスパコ映画祭と並んでブルキナファソの最も有名なイベントの一つである、国際工芸見本市 (SIAO) の様子。この見本市も2年に1度の開催で、アフリカの工芸品がすべてここにそろいます

⑦ 登校してきた児童たちの頭には家から持ってきた弁当が乗っています

⑧ ワガドゥクに次いで2番目に大きいボボデュラッソにある駅。スーダン様式と呼ばれる方法で建てられています

⑨ どこまでも広がる草原だけでなく、人や車も行き交うまちの一面も楽しめます

⑩ 祭りでアフリカの民族楽器パラフォンと呼ばれる木琴をたたくダガラ族の男性

⑪ ワガドゥクから南へ150km、ガーナ国境近くの村、サビナ村にある住居は幾何学模様の描かれた壁になっています



⑫ワガドゥグから東へ215kmの所にある町・ファダのマルシェでは、新鮮な果物や野菜もそろいます ⑬雨季になると、国道も氾濫します ⑭ワガドゥグで見つけた土産物屋では、アフリカらしい民芸品がたくさん並んでいます ⑮「動物に注意」の看板も、日本で見るサルや鹿と違い、象の絵が描かれています

